泉の子

令和７年２月 27 日
泉小学校
学校便り　臨時号

「学校に関するアンケート」結果報告

１１月下旬に行った「学校に関するアンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。集計結果は以下のようになりました。いただいた評価および自由記述からの御意見を参考に、来年度の教育活動に生かしていきたいと思います。

【保護者】（4．そう思う　3．だいたいそう思う　2．あまりそう思わない　1．そう思わない　0．分からない　）

４点満点中の平均点を１００％として算出

①	お子さんは、学習や生活で自分の思ったことや考えたことを友達や教師に自分の言葉で説明したり、伝えたりすることができている。	７１％
②	お子さんは、友達の思いや考えを大切にし、あたたかく受け止めることができている。	８２％
③	お子さんは、課題や活動に対して自分の適性や役割を自覚し、自分なりに目標をもって、取り組んでいる。	７６％
④	お子さんは、課題を解決しようと、粘り強く努力したり、友達と協力したりしながら、進んで取り組んでいる。	７４％
⑤	お子さんは、学習のまとめや活動を振り返って、分かるようになったことやできるようになったことなど、自分の成長を感じることがあった。	７９％
⑥	お子さんは、学校に行くことを楽しいと思っている。	８３％
⑦	学校は、担任はじめ養護教諭や SC（スクール・カウンセラー）や SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）等も含めて教育相談を行いやすい体制整備がなされている。	７８％
⑧	保護者として、コミュニティ・スクールの一員となり、積極的にＰＴＡ活動に取り組んだり、授業や活動に講師やボランティアとして参加したりして、子供たちの活動や学びのために協働している。	５９％
⑨	学校は、子供自身の学びを社会や将来とつなぐキャリア教育を推進するために、積極的に地域人材を募り、活用する授業を実施している。	７７％

【児童】

①	あなたは、学習や生活で自分の思ったことや考えたことを友達や先生に自分の言葉で説明したり、伝えたりしている。	８４％
②	あなたは、友達の思いや考えを大切にし、まずは受け止めることができる。（あなたはともだちとなかよくし、ともだちのいけんもきいてあげている。）	９４％
③	あなたは、課題や活動に対して自分のよさや役割を自覚し、自分なりに目標をもって、取り組んでいる。	８８％
④	あなたは、課題を解決しようと、粘り強く努力したり、友達と協力したりしながら、進んで取り組んでいる。	９０％
⑤	あなたは、学習のまとめや活動をふり返って、分かるようになったことやできるようになったことなどが多くあった。	９１％
⑥	あなたは、学校に行くのが楽しい。	８８％
⑦	学校は、先生や友達がいて、困ったときには相談することができる。	９３％
⑧	地域の人のお話やボランティアの方々に手伝って教えてもらうことにより、自分の活動や学習内容がさらに分かるようになったり、できるようになったりした。	９４％

子供たちの評価は８４％から９４％と、それぞれの項目で高い数値となりました。達成感、満足感が得られている表れだと思います。

コロナ禍を経て、様々な制限がなくなり、学校も日常の活動や学習の交流ができるようになってきました。学習面ではグループになって意見交換をしたり、教え合ったりすることができるようになり、学びが深まるようになりました。また、それらを保護者の方も人数制限なく自由に参観会で見ることができるようになりました。項目①～④の保護者評価が昨年より３～5 ポイントほど上がっているのは子供たちの充実した活動の様子が保護者の方にも伝わっているからだと思います。

項目⑥「学校に行くのが楽しい。」児童評価は８８％、保護者評価は８３％でした。学校が楽しい場所になっていると8割以上の児童、保護者が感じているという結果となりました。

項目⑦「学校が相談できる場所になっているか。」については、保護者は７８％となりました。保護者アンケートの自由記述に「どこに相談してよいか分からない。」「相談できる場所やどんな対応をしてくれるのか明確にしてほしい。」という御意見や「苦しいとき、保健室や他の子に見られずに安心できる場所があるとよい。」「学校に行けたけれど、教室に入れないとき、入る場所や教室があるとよい。」という御意見がありました。子供が人の目を気にすることなく安心して過ごせる場所があるとよいのですが、現在常に空いている教室がない状態です。空いているのは北校舎１階のゆめホールと南校舎３階の会議室だけです。それ以外の教室はすべて使っており、その会議室も PTA の方たちやスクールカウンセリングのために不定期で使うことがあります。また、来室した子供を一人きりにすることはできません。職員が必要です。しかし、現状では対応できる場所や職員が確保できない状態です。来年度は、クラス数も増え、ゆめホールが日本語指導と学習個別指導の教室になる予定なので、さらに場所が確保できない状態になります。

学校が楽しい場所となるよう子供の心に寄り添うことが重要です。所属感が感じられる学級づくりや協働的な学び方、自分を成長させる道徳科や特別活動の在り方等について、学級担任はじ

め多くの職員で指導し、多くの職員の目で子供たちを見守っていきたいと思います。相談するのは、子供のことを一番よく知る学級担任が良いと思いますが、長い期間子供のことを見ているということであれば昨年の学級担任や過去の学級担任に相談していただいて構いません。学年主任、保健室の養護教諭、生徒指導の教諭、主幹教諭、教頭、校長等の職員もいます。また、SC（スクールカウンセラー）も月に１、２回本校に来校します。専門的な知識をもち、依頼に応じて子供の様子を見てからカウンセリングするので、的確なアドバイスができると思います。子供や保護者の悩みや相談に対応できるよう引き続き、体制を整えていきます。

項目⑧では、子供たちの評価は９４％でとても高いです。子供たちの学びの支援となっているコミュニティー・スクールの「いずみっこ応援団!!」の存在がとても大きいことが結果から分かります。「いずみっこ応援団!!」は学校支援コーディネーターさんたちが仲介してくださっている地域の人財です。専門的な知識や技能で子供たちに説明や体験をさせてくださったり、見守りボランティアに協力してくれたりしています。保護者の方々も仕事がある中で５９％も協力してくださっています。職員からも「とても助かっている。」「続けてほしい。」という声が多数上がっています。保護者の方の御意見の中に「子供たちのことを先生方や地域の方々で見守り、支えてくれていると日々実感します。いつもありがとうございます。」「PTA や保護者、ボランティアの皆さん、お店の方や地域の方々が登校の見守りをしてくださり、ありがとうございます。」というものがありました。挨拶ウィークの際には、家から出て、子供たちに声掛けをされている保護者の姿を見ました。寒い中ですが、毎日通学路に立って旗振りをしてくださるボランティアのみなさんにも頭が下がります。地域の大人がみんなで子供たちを温かく育てていることをうれしく思います。

いじめに関する現状について

いじめの定義

「一定の人的関係にある」「心理的又は物理的な影響を与える行為」「行為の対象となった子供が心身の苦痛を感じている」

本年度の１月末現在の泉小のいじめの認知件数は「162 件」です。登校日が 166 日なので、平均すると登校日とほぼ同じ数値です。いじめ認知件数というのは、いじめがあったかどうかではなく、いじめを認知したかどうかです。子供たちや保護者から報告があった全ての件数です。「睨まれた。」「言われそうな気がする。」もいじめの認知にカウントしています。「いやだったね。」「誤解だったんだね。」で解決することもあります。職員はいじめを見逃さないという強い思いでアンテナを高くしています。早いうちに子供たちの不安な気持ちや誤解を解くことが大切です。学校では、定期的にいじめ防止対策委員会を開いて現状報告やその後の様子について話し合っています。心配な場合は、機を逃さず、臨時でいじめ防止対策委員会を開いて解決策を考え、保護者の方に説明をしています。また、心のケアのためにスクールカウンセラーに相談することもあります。自分からなかなか相談できずに困っている子供に早く気付き、声を掛け守ってあげる。安心して今日も「学校って楽しい」と思えるよう寄り添っていきたいと思います。

泉小のホームページのブログには、日々の子供の様子が載っています。子供たちが生き生きと活動している姿を是非御覧ください。

今後も学校教育活動に御理解・御協力をお願いいたします。

（文責：大石）